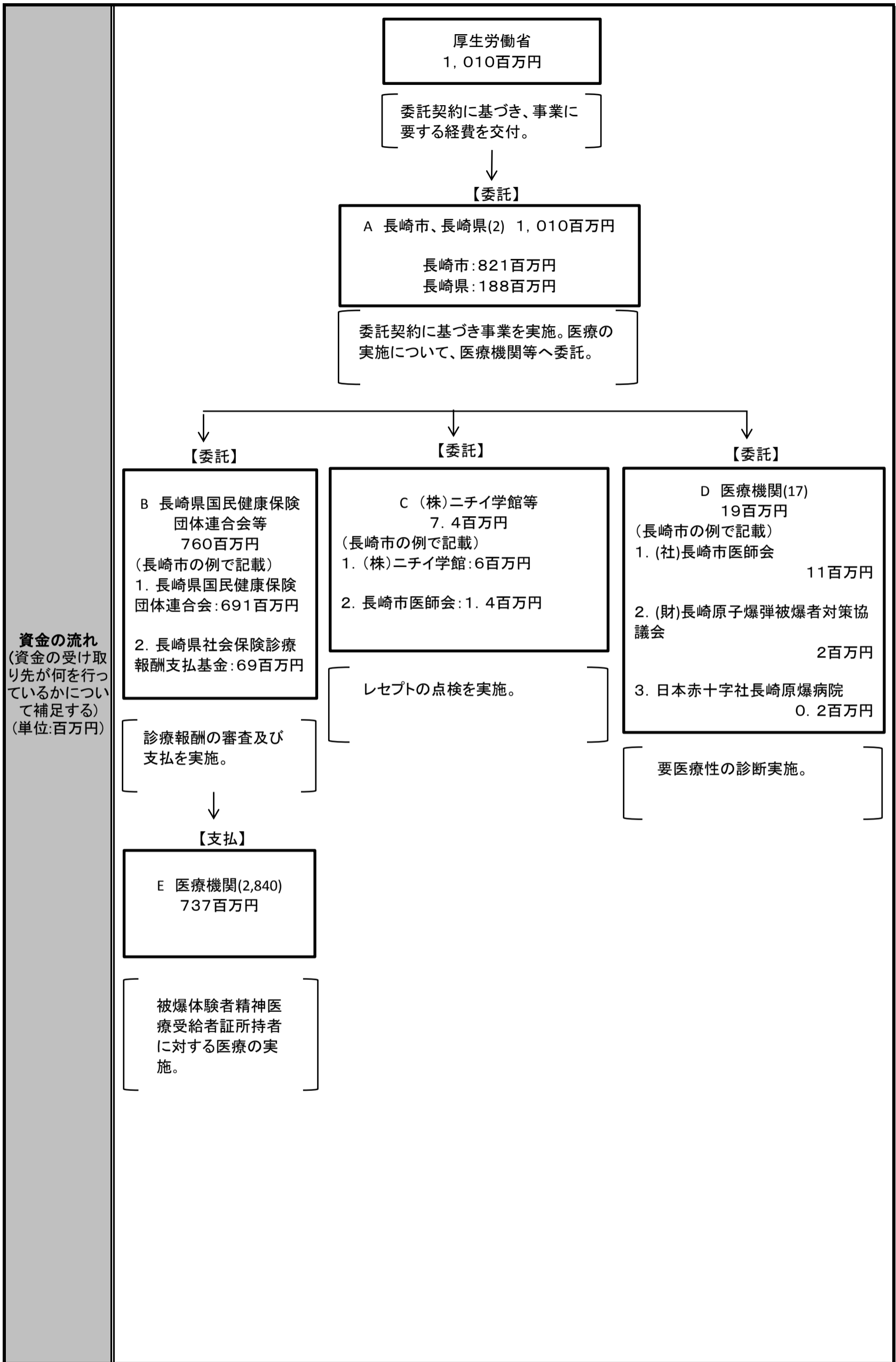


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	被爆体験者精神影響等調査研究委託費	事業開始年度	平成14年度			作成責任者
担当部局庁	健康局	担当課室	総務課指導調査室			総務課指導調査室 岡山 健二
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「被爆体験者精神影響等調査研究事業の適正な実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当委託費は、被爆体験による精神的要因に基づく健康影響に関連する特定の精神疾患を有する方を対象に、精神疾患(合併症含む)の治療等に係る医療費の支給を行うこと等により、その症状の改善、寛解及び治癒を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被爆体験者精神影響等調査研究委託費 委託費:長崎県、長崎市 対象者:第二種健康診断受診者証の交付を受けた方で、現在、長崎県内に居住されている方 事業:健康教育の実施、精神疾患に関する診断、精神疾患の合併症に関する診断、被爆体験者精神医療受給者証の交付に関する事務、医療費の支給					
実施状況	被爆体験者精神医療受給者証の交付状況(平成20年度) 長崎県:1,329件(医療費 159百万円) 長崎市:5,489件(医療費 737百万円)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	900	901	1,061	1,083	1,014
	執行額	800	800	1,010		
	執行率	88.8	88.3	95.1		
	総事業費(執行ベース)	800	800	1,010		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	支出先・使途の把握については、事業完了後提出される事業実績報告により把握				
	見直しの余地	平成22年度予算については、医療費の執行状況等を踏まえ、対前年度102%(22百万円増)の規模に見直しを図った。				
予算監視の所見率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 被爆体験者精神影響等調査研究委託費については、予算効率化の観点から、事業実績を踏まえて予算縮減に努めること。					
補記						



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

A.長崎市			E.医療機関(長崎市)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
扶助費	各医療機関に対する医療費扶助費	737	扶助費	医療扶助費	737
委託費	医療費審査支払事務委託料等 (長崎県国民健康保険団体連合 会、長崎県社会保険診療報酬支 払基金、(株)ニチイ学館、長崎市 医師会)	49			
役務費	調査書類作成費等	11			
人件費	申請受付事務やその他の事務補 助等に係る経費	9			
需用費	消耗品費等	5			
報酬	受付・相談員専の専門員に係る経 費	4			
報償費	審査会等の委員に対する諸謝金	4			
その他	賃借料、共済費等	2			
計		821	計		737
B.長崎県国民健康保険団体連合会(長崎市)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
扶助費	各医療機関に対する医療扶助費	671			
事務費	診療報酬明細書の審査及び支払 事務に対する経費	20			
計		691	計		0
C.(株)ニチイ学館(長崎市)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事務費	診療報酬明細書の写しのチェック 等に関する経費。	6			
計		6	計		0
D.社団法人 長崎市医師会(長崎市)			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
診断費	要医療性の診断実施にかかる経費	11			
計		11	計		0

費目・使途  
(「資金の流れ」  
においてブロックごとに最大の  
金額が支出されている者につ  
いて記載する。使途と費目の  
双方で実情が分かるように  
記載)